

当院は岩手県の北端に位置する 一般病床・地域包括ケア病床・医療療養病床という3つの病床を併せ持つ病院です。地域に根ざした医療の実践と地域の保健・福祉との連携により、住民に信頼され親しまれ、地域づくりに貢献する病院を目指しています。

病院の機能としては、地元の一般診療、二次救急、県北の慢性期疾患の受け入れ病院となっています。

地域包括ケア病床とは 急性期治療を行い病状が安定したが、自宅や施設へ退院するには不安のある患者さんに対して引き続き在宅復帰に向けて治療・支援を行うことを目的とした病床です。

医療療養病床は、施設希望など療養期間が長期になりそうな患者さんの受け入れ病床ですが、ACPつまり人生の最終段階における医療・ケアについてもご本人・ご家族とともに考えていける病床です。

当院は、糖尿病学会の認定教育施設、消化器病学会の関連施設となっており、糖尿病教育や内視鏡検査に積極的に取り組んでいますし、外科では骨粗鬆症の治療にも力を入れています。

また、周辺の小学校～高校を回って、生活習慣病予防の啓蒙にも努めております。

スタッフは内科が横島理事、小田島、菊地、高橋の4名、外科は院長の私（葛西）、伊藤の2名、小児科は小笠原参与という布陣です。

岩手医科大学からは、当直をはじめとして本当に手厚く応援いただいております、非常に感謝しております。

